

科目名	担当教員名	学期
ファイナンス I Finance I	明田 雅昭	前期
目的	ファイナンス理論の土台となる貨幣の時間的価値、金利、割引率の概念、そして資本支出（キャピタル・バジューティング）の意思決定法を学ぶ。さらにリスクとリターンの概念を学び、均衡期待リターンおよび資本コストを理解する。	
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在価値と将来価値 2. 純現在価値（NPV）、内部収益率（IRR） 3. キャピタル・バジューティング、リアル・オプション 4. 均衡期待リターンに関する理論（CAPM、APT） 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割引キャッシュフロー（DCF）法をマスターする。 2. 基礎的なコーポレートファイナンスの意思決定分析をマスターする。 3. 均衡期待リターン理論および株主資本コストの考え方を理解し、資本支出の意思決定に使用する加重平均資本コストが計算できるようになる。 	
成績評価の基準と方法	宿題と理解度チェック（中間・期末）によって100点満点で素点を計算する。この素点が60点以上の学生を合格者とし、相対評価比率に合致するように、素点順にA、B、C、Dの評価を決定する。素点ベースで60点未満の者は不合格（E評価）とする。	
履修条件	高校程度の数学（級数と統計）を理解し、EXCELの基本的な操作ができること	
授業計画		
第1週	ガイダンス コーポレートファイナンスの紹介	
第2週	財務諸表とキャッシュフロー、EXCEL基本機能の復習	
第3週	財務諸表分析と財務モデル	
第4週	割引キャッシュフロー評価（1）、連続複利と自然対数の理解	
第5週	割引キャッシュフロー評価（2）	
第6週	純現在価値と他の投資ルール	
第7週	資本投資の意思決定	
第8週	リスク分析、リアル・オプション、そしてキャピタル・バジューティング	
第9週	金利と債券の評価（1）と理解度チェック（中間）	
第10週	金利と債券の評価（2）	
第11週	株式の評価	
第12週	リスクとリターン：市場ヒストリーからの教訓、確率分布入門と回帰分析	
第13週	資本資産価格モデル（CAPM）	
第14週	裁定価格理論（APT）、加重平均資本コスト（1）	
第15週	加重平均資本コスト（2）、理解度チェック（期末）	

<p>テキスト 参考書等</p>	<p>都度、講義資料を配布するが、内容は次のテキストに準じたものである。 【テキスト】：『コーポレートファイナンスの原理（第9版）』 Ross S. A., Westerfield, R. W., & Jaffe, J.著 大野薫訳（金融財政事情研究会、2012年）</p>
<p>その他 特記事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、毎回、講義内で EXCEL シート上で計算を行う実習と、宿題が課される。 ・宿題のうち正答率が低かった問題については、次回講義で正解者に解説をしてもらう。解説担当者は事前に指名され、解説実施後に加点される。